

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 4 年 2 月 4 日(2022.2.4)

【公開番号】特開 2021-15771(P2021-15771A)

【公開日】令和 3 年 2 月 12 日(2021.2.12)

【年通号数】公開・登録公報 2021-006

【出願番号】特願 2019-131215(P2019-131215)

【国際特許分類】

H 0 1 M 50/20(2021.01)

10

H 0 1 M 50/10(2021.01)

H 0 1 M 50/50(2021.01)

H 0 1 M 10/613(2014.01)

H 0 1 M 10/625(2014.01)

H 0 1 M 10/647(2014.01)

H 0 1 M 10/6553(2014.01)

H 0 1 M 10/6557(2014.01)

H 0 1 M 10/6561(2014.01)

H 0 1 M 10/04(2006.01)

H 0 1 G 11/78(2013.01)

20

H 0 1 G 11/80(2013.01)

H 0 1 G 11/12(2013.01)

【F I】

H 0 1 M 2/10 A

H 0 1 M 2/02 Z

H 0 1 M 2/10 S

H 0 1 M 2/10 M

H 0 1 M 2/20 A

H 0 1 M 10/613

H 0 1 M 10/625

30

H 0 1 M 10/647

H 0 1 M 10/6553

H 0 1 M 10/6557

H 0 1 M 10/6561

H 0 1 M 10/04 Z

H 0 1 G 11/78

H 0 1 G 11/80

H 0 1 G 11/12

【手続補正書】

40

【提出日】令和 4 年 1 月 27 日(2022.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

導電板を介して鉛直方向に積層されて電氣的に直列に接続された複数の蓄電モジュールと

50

前記複数の蓄電モジュールを前記鉛直方向において両側から拘束して一体化する一対の拘束部材と、
前記複数の蓄電モジュールのうちの前記鉛直方向の最下部に配置された前記蓄電モジュールである端部蓄電モジュールと前記鉛直方向の下側の前記拘束部材との間に配置され、前記端部蓄電モジュールに電氣的に接続された集電板と、
前記鉛直方向の下側の前記拘束部材と前記集電板との間に配置された板状部を有する絶縁部材と、を備える蓄電装置であって、
前記蓄電モジュールは、
複数のバイポーラ電極がセパレータを介して前記鉛直方向に沿って積層された電極積層体と、
前記電極積層体の側面部を覆い、前記電極積層体とともに電解液を収容する空間を形成する枠体とを備え、
前記絶縁部材は、前記板状部から前記鉛直方向の上側に向かって突出する壁部を有し、
前記壁部は、前記鉛直方向から見て、前記集電板及び前記端部蓄電モジュールから離間して前記板状部の縁部に部分的に、又は、前記板状部の縁部の全周に設けられている、蓄電装置。

10

【請求項 2】

前記壁部は、前記鉛直方向から見て、前記集電板及び前記端部蓄電モジュールを囲んでいる、請求項 1 に記載の蓄電装置。

【請求項 3】

前記壁部における前記鉛直方向の上側の端部の位置は、前記端部蓄電モジュールにおける前記鉛直方向の上側の端部の位置よりも、前記鉛直方向の下側に位置している、請求項 1 又は 2 に記載の蓄電装置。

20

【請求項 4】

前記枠体と前記板状部との間には、前記枠体と前記板状部との間を液密に封止するシール部材が設けられ、
前記集電板は、前記鉛直方向から見て、前記シール部材によって囲まれた領域内に配置されている、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の蓄電装置。

【請求項 5】

前記枠体は、
前記複数のバイポーラ電極のそれぞれの縁部に接合され、前記鉛直方向に積層された複数の第 1 枠体と、
積層された複数の前記第 1 枠体の周縁を一体的に封止する第 2 枠体とを含み、
前記シール部材は、前記第 2 枠体と前記板状部との間に設けられている、請求項 4 に記載の蓄電装置。

30

40

50